

令和4年度 項目別の自己評価表

1. 学校の教育目標

キャリア教育・職業教育と人間性の涵養に努め、一人一人の自立を目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

自立した人間性を育成し意識の向上につとめ、自らの考えを提案できる機会を作り自主性を高められるよう、取り組みを行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 創学の精神「自立」と「清く・正しく・美しく」の教育理念は実行されているか	4	3	2	1
・ 職業とキャリアを重視した教育がなされているか	4	3	2	1
・ 専修学校が社会に於ける役割を認識しニーズに応える学校づくりに努めているか	4	3	2	1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・ 専門教科に重点を置き、併せて一般教科・特別教育活動をして専門業界の即戦力となる人材の育成に努めているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては、在学生アンケート結果から、学生が目標を定め意欲的に活動し学校生活を送っている点が挙げられる。各々が早い段階で将来設計を構築し、計画的に資格取得や課題細目に取り組んでいることは、職業とキャリアを重視した教育と創学の精神である「自立」が徹底されていると分析する。

今年度は更に、山形県の銀山温泉にある仙狭の宿銀山荘より依頼を頂き、浴衣の羽織ものを制作。学生達で素材を選び、デザイン、制作した活動は、自立の精神は勿論、専門的な知識を学ぶ者が社会的にどういった役割を求められているのかを肌で感じる事が出来た。今後もそういった機会を取りこぼさない様にしていく。

課題としては、専門知識、技術の教育をしきれなかった点である。今年度は仮校舎での授業であったため、従来の授業計画が上手く進まなかった。

② 今後の改善方策

次年度は新校舎へ移設後であるので、当該在校生に対し補填となるように決められた時間の中でも最大限の技術指導を徹底し、授業計画も刷新しながら問題の解決に当たりたい。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 校務分掌役割の確認と責任の遂行はなされているか	4	3	2	1
・ 事業計画を綿密に立て、共通理解で運営されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は毎朝の職員会議等で諮られて納得して十分機能しているか	4	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1

・ 業界や地域社会と密接な信頼関係が確立されているか	4	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては、校務分掌の整備を着実に進められている点である。前年度の改善案を元に、カテゴリの細分化、係の明確化を整備、組織図においての役割を明確化した。

課題はそれら校務分掌整備が完全に出来ていないことである。

② 今後の改善方策

改善の方法としては、校務分掌に関しては前年度同様カテゴリを細分化し、係を明確化することによって教員がそれぞれ係を自認し校務に取り組みやすいように整備していくことを続け、完了させる。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・ 業界のニーズに十分応えるレベルに到達する教育と時間の配分が明確にされているか	4	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されキャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携事業）は体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・ 授業評価・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・ 人材育成目標達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては、関連分野における実践的な職業教育が行われた点である。仮校舎で授業が行われていた間も、インターンシップなどは例年通り行われたため、協力企業からの声を取り入れインターンシップ後の学生へのフィードバックを行い、実際に働く上で必要な技術や心構えなどを指導した。

課題としては、前年度同様、人材育成の目標を達成するための要件を備えた教員の確保が挙げられる。策定されたカリキュラムに沿った授業を行うことができる教員は備えているものの、現在以上の上進を目指すにはやや不足した部分が見受けられた。

② 今後の改善方策

改善方策としては、十分な実務経験を備えた教員・講師の確保が挙げられる。カリキュラムの

目標を更に明確化し、達成することができる教員の要件を策定、また教職員間で共有し、適時教員と講師を配置して更なる授業の充実を試みる。研修や教員の指導力育成は十分取組まれているが、来年度は更に備えるべきスキルを審議したうえで、研修に臨み、教員一人一人の質の向上を図る。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍や卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 成果と課題

まず成果として、昨年度制作した卒業生の社会的な活躍をまとめたお仕事図鑑の活用が上手くいった点である。卒業生の就職先とどうしてそのキャリア形成に至ったかを記載したお仕事図鑑を参考に就職活動はどう進めれば良いのか、学生及び保護者の参考として活用された。

課題としては、就職率が昨年度よりも減少してしまった点、退学率が増加してしまった点である。将来設計に迷いのある学生に対する対応において、本人の自由意思を尊重しすぎてしまい対応が後手に回ってしまった。尚、当該学生については卒業後、就職先が決まっていることを付け加える。

② 今後の改善方策

改善に向けて、別項目の重複記載になるが、学生からの相談担当者を明確に定め、将来設計に迷う学生に対し相談しやすい環境を整えたので、今後はそれを更に学生に周知し気軽に活用してもらえる環境づくりをしていく。

退学率については、学生本人の修学へのモチベーションの維持させる事を第一に、時勢による経済状況が学生の家庭環境にどのように影響を及ぼしているか、それによる学業継続の可否の見極め、奨学金など修学支援の運用が可能かをきちんと話し合っていく。学校としては修学してもらうことが最も望ましく、学生当人に寄り添い、注意深く慎重に対処していく。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する指導・支援は行われているか	4	3	2	1
・ 学生相談に関する体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 保護者会と適切に連携しているか	4	3	2	1

・ 卒業生へのニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・ 中学・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては学生相談に関する体制を整備した点である。学生からの相談に対応する担当教員を明確に定め、その担当者から学生の担任教員へと情報共有し、連携をしていく事で学生間のトラブル回避や、将来設計における適切な助言をしていく事が出来た。

課題としては、学生にその相談教員の存在の周知が徹底されていない点。課外活動への支援体制が不十分であった点。今年度に於いては、仮校舎移設に関し保護者会との情報共有が不足していた点である。

② 今後の改善方策

学生相談について、就職相談、進路相談、学生生活相談窓口として担当教員を広く周知し、相談しやすい環境づくりに努める。

課外活動支援に対しては、企業主催のインターンシップなど学生が各々で参加出来る活動について推奨していくこと。その間の課題や学業のバックアップ体制を整える。

保護者会との情報共有について、マチコミなどSNSでの連絡の他、重要案件については書面での伝達をきちんと行っていく。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては施設・設備の充実がある。オンライン授業に対して意欲的に取り組み、検定対策などにも大いに活用した。

ただし課題としても施設・設備が挙げられている。特定の教員のみが対応できない場合もあるため、今後は複数の教員が行えるよう共有をしていく必要がある。

② 今後の改善方策

今後の改善に向けて、教員間で機材の扱い方の共有をしていく。設営、撤去時など何人かで行い基本的な起動の仕方、操作方法の共通認識を深める。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が積極的に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1

・ 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報や教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては、例年に引き続き資料請求の増加した点である。資料請求は昨年度に比較して121%の伸び率となった。更に昨年に引き続きSNSの活用を力を入れた他、ホームページの刷新、専門と高等科のすみわけとしてオープンキャンパスとオープンスクールを別日開催にし、より丁寧な対応を心がけた結果、来校から入学に繋がる人数も5.2人と、東北エリアの同規模校平均4.9人を上回る結果となった。

課題としては、資料請求から来校に繋がる割合の増加が芳しくない点、県内、近隣県からの外部出願者の確保する点、学納金が妥当なものか保護者から指摘があった点が上げられる。

② 今後の改善方策

今後の改善として、資料請求から来校への結びつきを強化する。学校パンフレットを新規で制作するのに合わせ、Instagram、学校ホームページなどで学生生活が身近に感じられるようなコンテンツを増加、来校意欲に繋げる。

県外からの来校者・入学者の増加も図っていき、本校の立地のアピールと住環境のサポートの強化。本校にしかない特色・魅力を掘り下げ、近隣市町村の学生のみならず、県内遠方や県外からの来校を促す。

学納金に関しては、前年度は仮校舎にて授業が十二分に行えなかったという点が大きい。新たな設備の中で授業となるので、そのような指摘がないよう充実したカリキュラムを遂行していく。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 成果と課題

事業内容等も含めた財務情報について最新の情報公開を行う。

② 今後の改善方策

解り易い財務の情報公開を行い、安心して入学、学修する資料とする。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1

・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行い、自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 成果と課題

自己評価等の実施を積極的に行い、改善点を明確にしていく

② 今後の改善方策

自己評価結果に基づいて、改善し最新の情報公開を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 学友会のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 成果と課題

成果としては、地域のボランティア活動に意欲的に参加した点である。公民館にて地域の方々と交流しながらクリスマスリース作りを行い、地元の保育所へ寄付する活動に参加した。服飾デザインの知識を活用し、社会に貢献する貴重な機会であった。

② 今後の改善方策

今後の方策としては地域のコミュニティー活動に参加を続け、これまで以上に地域の方々、近隣企業と密接な関係を築く事、ボランティア活動を通し様々な年齢の人々と接する機会を設ける事で学生達の社会経験を積む活動の一環にしていく。

(11) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 留学生の受入れ・派遣に積極的に取り組んでいるか	4	3	2	1

① 成果と課題

課題として、前年度に引き続き留学生の受け入れ、また留学生としての派遣が今年度なかったことが挙げられる。

② 今後の改善方策

積極的に多言語での情報発信に取り組み、留学生としての派遣なども検討する。また、留学の目的をしっかりとって経済的にも不安なく学べる人材を受け入れる努力をする。